

## contents

- ・患者図書室が新しく  
なりました
- ・新任教授のご紹介

- ・診療科紹介  
産婦人科 / 腎・透析センター / 皮膚科
- ・診療科からのお知らせ  
リハビリテーション科
- ・院内コンサートが開催
- ・災害時医療支援車が配備
- ・公開講演会スケジュール



【杏林大学医学部付属病院】  
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2  
Tel. 0422-47-5511 (代表)  
<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

## 患者図書室が新しくなりました



平成 25 年 4 月 12 日 (金) に第 2 病棟 1 階  
に新患者図書室がオープンしました。

患者図書室は、入院患者さんやご家族に対し、  
本の貸し出しを通じて「安らぎを提供」する  
ための施設として新たに設置され、敷地面積が  
136㎡ (従来の患者図書室の 4.1 倍) と広くなり、  
車椅子でも利用可能となりました。蔵書数は  
約 8,100 冊に上ります。

閲覧スペースもゆったりしており、入院患者  
さんやご家族以外のどなたでも閲覧できます。  
ただし、図書貸出は、従来どおり当院入院患者  
さんやご家族に対してのみ行います。

**患者図書室**

開室時間：月曜日～金曜日  
午後 1 時～3 時

患者図書室は、ボランティアによる運営を基本  
としています。今後は開室時間を拡大して、患者  
さんやご家族の視点にたった運営を行い、多くの  
方に利用していただくことができるよう環境を整  
えていきます。



## ◆ 新任教授のご紹介

眼科学教室

山田 昌和  
まさかず



最終学歴 慶應義塾大学医学部卒業  
職歴 昭和 61 年 5 月慶應義塾大学医学  
部眼科研修医及び専修医、平成元年 1 月国立  
栃木病院眼科医員、平成 3 年 4 月慶應義塾  
大学医学部眼科学教室助手、平成 5 年 7 月  
米国 Duke 大学アイセンター研究員、平成 7 年  
8 月慶應義塾大学医学部眼科学教室助  
手、平成 9 年 4 月慶應義塾大学医学部眼科  
学教室講師、平成 15 年 7 月国立病院機構東  
京医療センター臨床研究センター部長、平成  
25 年 4 月杏林大学医学部眼科学教室臨床教  
授

この度、眼科学教室の臨床教授を拝命いたしました。杏  
林大学では全くの新人であり、慣れないことばかりですが、  
しばらくはご容赦頂きますようお願い申し上げます。臨床  
教育、研究の 3 つを通じて、最新の眼科医療を实践すると  
ともに、平形教授をはじめとするスタッフ全員と共同して、  
地域医療や専門的医療に貢献し、アイセンターの更なる発  
展に励んでいく所存ですので、どうか宜しくお願いいたし  
ます。

麻酔科学教室

山田 達也  
たつや



最終学歴 慶應義塾大学医学部卒業  
職歴 昭和 59 年 5 月慶應義塾大学医学  
部麻酔科研修医、昭和 63 年 5 月研修終了、  
慶應義塾大学医学部麻酔学助手、平成 2 年 7  
月国立東京第二病院麻酔科医員、平成 4 年  
1 月埼玉医科大学総合医療センター麻酔科助  
手、平成 5 年 1 月済生会横浜市南部病院麻酔  
科医員、平成 7 年 9 月米国マウントサイナイ  
病院麻酔科リサーチフェロー、平成 8 年 9 月  
慶應義塾大学医学部麻酔学助手、平成 12 年  
4 月同専任講師、平成 25 年 4 月杏林大学  
医学部麻酔科学臨床教授

この度、麻酔科学の臨床教授を拝命いたしました。安全  
な臨床を行うためには、コミュニケーションが大事である  
と考えています。特に私の専門である心臓血管麻酔は合併  
症が起きやすく、心臓外科医、麻酔科医、臨床工学技士、  
看護師による医療チームとして知識や情報を共有すること  
が安全で確実な手術につながるものと考えます。萬教授と  
力を合わせ、麻酔科学教室をさらに成長させていくと共に、  
医学部、病院の発展のために努力していきたいと思ってい  
ます。皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げま  
す。

## 診療科紹介

### ◆産婦人科

産科では、外来混雑を避け、地域と連携を深めるため妊婦健診のセミオープンシステムを導入しています。産科初診時に分娩予約を行い、産科リスクの少ない患者さんをスコア表を用いて選別し、ローリスク妊婦を対象に連携している35施設で杏林と同様の方式で妊娠34週まで妊婦健診を行い、以後分娩までは杏林で健診を行うシステムです。

婦人科では、子宮体がんの術後の患者さんに対し地域連携バスを用いて紹介元病院で定期検診を行っています。今後、対象疾患を増やしていきたいと考えています。

また、地域病院に対し、定期的に産科と婦人科診療のトピックを取り上げ研修会を行い、診療レベルの向上と連携強化を図っています。

### ◆不整脈センター

不整脈センターでは、様々な不整脈に関する治療―薬物療法に加えて最新の非薬物療法を行っています。器質的心疾患に合併する致死性不整脈や心房細動、上室性頻拍などに対するカテーテルアブレーション、突然死の予防としての植込み型除細動器（ICD）、心不全治療としての心臓再同期療法（CRT）などが代表的なものです。ICD、CRTは患者さんが自宅にいながらチェックすることが可能なリモートモニタリングを活用し、MRI対応ペースメーカーの植込みを行っています。また、ICD植込み患者さんにおけるショック作動や植込みによる精神的ストレスへの対策、ICD改善のためのマネージメントを行っています。作動が頻回である場合は、アブレーションにより不整脈根治を目指しています。術前に撮像したCT上にカテーテルでマッピングしたデータが表示できる最新のマッピングシステムを用いて器質的心疾患に合併した不整脈に対する治療も積極的に施行しています。不整脈でお困りの患者さんがいらっしやいましたら是非ご紹介ください。

### ◆皮膚科

当科では地域の基幹病院となるべく、湿疹を始め、アレルギー性疾患、皮膚感染症、自己免疫疾患、皮膚腫瘍など幅広い疾患に対応しています。特に重症の薬剤アレルギーや皮膚感染症などの全身症状を伴う疾患や水疱症、悪性腫瘍においては、病棟に専属の医者を常に4〜5人配置して加療を行っています。



また、地域の患者さんの診療だけでなく、開業医の先生方との情報交換会にも力を入れています。情報交換会は年に約8回開催しており、講師の先生を招いた講演会、紹介頂いた患者さんの検討などを行っています。特に、重症薬疹は当科教授・塩原哲夫が厚生労働省の班会議の班長を務めさせて頂いており、薬疹の啓蒙も重要な仕事のひとつと考えています。11月12日の「ひふの日」には当院にて薬疹の市民公開講演を行う予定です。多くの方が集まって頂きたいと願っています。また、重症薬疹の説明を載せたホームページを開設し、診断基準や重症度スコアも掲載していますので、ぜひご覧下さい。(http://www.takeikouhan.jp/)

### 診療科からのお知らせ

#### ◆リハビリテーション科主催

#### FIM（機能的自立度評価法）講習会

当科では、平成21年より、看護師・コメディカルのためのFIM機能的自立度評価法講習会を、NPO法人東京多摩リハビリネットワークと協賛で、毎年2回、大学院講堂にて開催しています。毎回200名以上の方に関東一円から参加していただいております。FIMは、世界で最も使用頻度の高い日常生活

活動の評価法であり、移乗、移動、セルケア、排泄コントロールなどの運動項目だけでなく、認知・コミュニケーションなども含めた18項目について、介助量を指標として、7段階評価します。回復期リハビリテーション病院だけでなく、急性期病院、老人保健施設、介護療養施設など、多くの病院施設で使用されています。講習会では、FIMのコンセプト、採点法、具体例などを、寸劇なども交えて、わかりやすく解説しています。また、FIMに関する解説書としては、昨年12月に金原出版より「脳卒中の機能評価 STASとFIM基礎編（編著：千野直一ほか）」が出版されました。平成25年度は、7月7日に第11回の講習会を開催予定です。H.A. (http://ttn.or.jp) をご覧いただければ幸いです。

### ■第56回桐朋学園

#### 院内コンサートが開催

桐朋学園大学音楽部による院内コンサートが4月6日午後3時半より待合ロビーで行われました。

毎回、工夫を凝らした選曲と演出で観客を楽しませてくれる院内コンサートは99年の初演から今年で14年を迎えました。

56回目の開催となったこの日は、春の風を思わせる天気でしたが、会場には入院患者さんやご家族の方など60人ほどが

つめかけ、パスเทลカラーの衣装を身にまとった4人の学生が奏でるフルートの美しい音色に耳を傾けまし

た。

次回の院内コンサートは7月6日（土）午後3時半からです。



### ■災害時医療支援車が配備

東京都は東日本大震災の教訓を踏まえ、東京DMAT専用の災害時医療支援車（東京DMATカー）を2カ年で全東京DMAT指定病院に配備することとしており、3月27日、当院にも配備されました。

災害時医療支援車には、大規模災害時に東京DMATが災害現場で自己完結型の活動を長時間行えるよう、標準的な医療器具はもちろん、衛星電話や無線機等の情報通信機器や最大で4名が寝泊まりできる野営資器材が搭載されています。

当院はこれからも災害時に最善の救急体制をとれるように東京都と連携して備えていきます。



### 平成25年度公開講演会上半期スケジュール

杏林大学では、今年度も医療・健康などをテーマに公開講演会を開催します。皆様のお越しをお待ちしております。※開催場所はいずれも三鷹キャンパス

※申込不要・入場無料

開催日	時間	テーマ	講師
5月18日（土）	13:30-15:00	被災地でのリハビリ支援	保健学部准教授 河野 真
6月1日（土）	13:30-15:00	心臓疾患の診断・治療の最前線	医学部教授 吉野秀朗
6月22日（土）	13:30-15:00	聴こえのしくみと耳の病気	医学部講師 増田正次
7月13日（土）	13:30-15:00	ピロリ菌を除菌してきれいな胃を取り戻そう	医学部教授 高橋信一
9月7日（土）	13:30-15:00	なぜがんは再発するのか？乳がんの多様性と最新治療	医学部教授 井本 滋